

市長のまちづくりふれあいトーク

30～40 歳代トーク 会議録

■日時 平成 27 年 1 月 30 日（金） 午後 8 時～9 時 45 分

■場所 ふれあいスポーツセンター 第 3 会議室

■参加者 15 名

■市出席者	氷見市長	本川 祐治郎	市民参加と協働・防災のデザイン課	荻野直樹、谷内博史
	企画振興部長	高橋 正明	総合政策課	藤澤一興、舛田建治

■次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 意見交換会
 - ・参加者数人から意見をもらう
 - ・3テーブルに分かれ、市長に聞いてみたいこと、言いたいことを話し合う
 - ・テーブルごとに出たい件を、聞取り役の職員から発表
 - ・進行役が順次、意見の集約や内容を確認し、市長が意見に対し回答
- 5 閉会

意見交換会

意見	討論
<p>○ソフトテニスをしている子どもがいる</p> <p>大浦の運動公園の老朽化 テニスコート4面中2面使えない 氷見だけテニスコートの整備されていない 天狗林山奥で使いにくい ハンドボールは盛ん 子どもの可能性を育てる施設を インドア⇄アウトドア</p> <p>コートに土は入ったが、<u>ベンチや審判台、ネット・ポールもボロボロ</u> <u>草むしりもまばら</u> ⇒予算化に向けて現地調査・検討</p> <p>○高校生の子がいます</p> <p>昔は近くに駄菓子屋などがあった 交流が生まれる場づくりが地域再生のカギ←「地方再生の罨」の本より <u>ふらりと行ける</u> かつてヤモリカフェがあった。 住民同士が気軽に<u>コミュニケーションできる場</u>が必要では ハコモノではなく、声が自由に聞ける場がほしい。ビジョンは</p> <p>味わいたい感情 ← イベント ← 可能にするハード</p> <p>朝日山公園 子どもが遊ぶところ ⇒ 子どもが自分で歩いて 魚々座 学童行かない子 行ける範囲 世田谷プレイパークの例 ソフトがある場所</p> <p>○子育て支援</p> <p>もう 5,000 円アップしてほしい。</p>	<p>●血液型で3班に別れ討議</p> <p>A型グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれスポの設備 子ども利用しているがトイレが汚い。気持ちよく使えないのが残念 運営費がダウンしている 手触りのところケチル傾向 ・未婚の人 なんて結婚しないの コンパできるこじやれた場所、二次会の場所 コミュニケーション出会いの場 オーシャンビューの海越しの立山連峰 民間のジャンル こだわりの結婚式できるところ これの投資を誘発する <p>B型グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育環境 学校がなくなっていく ルールをつくる方向・・・合併のルール ・住みたい地域づくりへの市長のビジョン ライフスタイルに合わせた選択できる 感性豊かな人招き入れる ・学童施設雨漏り老朽化 リフォームからリノベーションにかえる ・魚々座 黒い施設に白い鳥対策は カラスの天敵→カモメ 黒い瓦の家並みに合わせている 風景 1000 年の考え方 ・NPO で地域のつながりつくる活動している 氷見で NPO 起こす若者を増やしたい <p>○・AB型グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場→朝日山につくりたい ・スポーツ施設をもっと増やせないか→順次増やしていきたい ・商店街のにぎわいづくり→転業すすめる。ドリームプランで活性化 ・市民会館、市民病院跡地のこと→グランドビジョン

○氷見駅降りると寂しい。商店街など人がもっと歩いてくれるような工夫は？

藤子スタジオと提携して取り組み進める予定

商店街の歩道は水木しげるロードはもう 30cm 広い。空が見える

空き家、空き店舗をお店に変える、交渉していく人材を投入する予定

リノベーションはリフォーム+新しい機能を付ける